

オルガン・1ドルコンサート atHome

－ 8月15日配信 プログラム♪ －



富田一樹 Kazuki TOMITA

大阪音楽大学オルガン専攻を最優秀賞を得て首席で卒業。同大学音楽専攻科オルガン専攻修了。ドイツ・リューベック音楽大学大学院オルガン科修士課程を最高得点で修了。

オルガンを土橋薫、アルフィート・ガストに師事。古楽をハンス・ユルゲン・シュノールに師事。第20回バッハ国際コンクールのオルガン部門にて日本人初となる第1位と聴衆賞を受賞(2016年7月)。「咲くやこの花賞(音楽部門)」「音楽クリティック賞(奨励賞)」を受賞。MBS ドキュメンタリー番組「情熱大陸」に出演。(一社)日本オルガニスト協会会員。

◆ J. S. バッハ／C. グノー：アヴェ・マリア

J. S. Bach (1685-1750) / Charles Gounod (1818-1893) : Ave Maria

フランス・ロマン派の作曲家シャルル・グノーが、J. S. バッハの《平均律クラヴィア曲集第1巻》第1番ハ長調の前奏曲を伴奏として用い、新たな旋律とアヴェ・マリアの歌詞が加えられた名曲。美しくも息の長い旋律が、聖母マリアの感じた不安を慰めるかのような優しさを持つ。

◆ J. S. バッハ：トッカータとフーガ 二短調 BWV 565

J. S. Bach (1685-1750) : Toccata und Fuge d-Moll, BWV 565

青年期に書かれ、北ドイツのオルガン音楽が意識された作品。稲妻のような下降音型で幕を開けるトッカータは即興的な自由さが支配し、フーガでは常に16分音符が打ち付けられ、再びトッカータに戻り劇的に終結する。オルガンという楽器の特徴を効果的に引き出すだけでなく、情熱的な音楽に仕上がっており、J. S. バッハ作品の中でもとりわけ人気が高い。